

バケットエレベータ

SEG 3D (2)

取扱説明書



株式会社 **サマケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がケガを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - 本製品の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を本製品の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、ケガを負ったり損害が発生したりしても、株式会社サタケおよび販売店・JAは一切その責任を負いません。

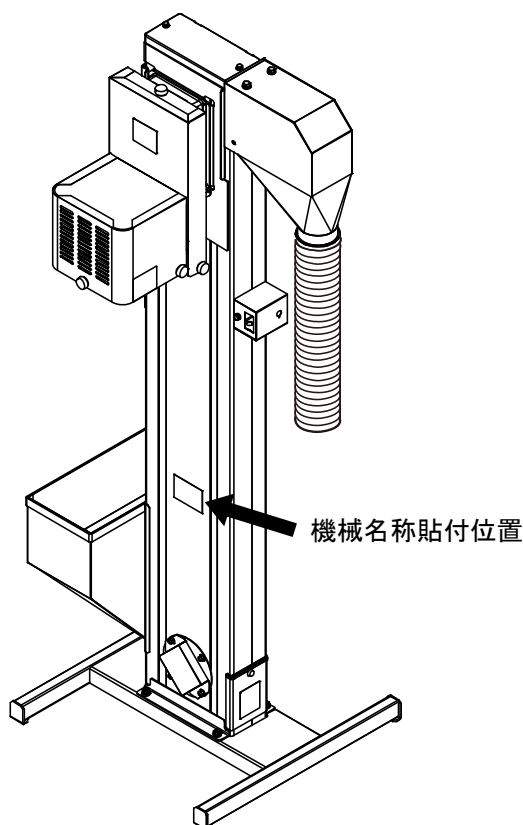
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

本製品の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・ＪＡまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはＪＡまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も合わせてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。

正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より1年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはJAに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・JAまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記(1)から(7)の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはJA、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはJAにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

ページ

安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv

ご使用のまえに

安全上の注意事項	1
使用上の注意事項	2
標示ラベルについて	3
各部のなまえとはたらき	5
ホッパについて	6
組立	8

運転のしかた

運転前の準備	9
運転のしかた	10
過負荷停止装置の解除方法	12

点検・調整

点検・調整	13
-------------	----

お手入れと保管

掃除と保管	14
-------------	----

その他

消耗部品	15
仕様	16
機体寸法	17
保証とアフターサービス	18

緊急時の連絡先	巻末
---------------	----

ご使用のまえに

運転のしかた

点検・調整

お手入れと保管

その他

安全上の注意事項

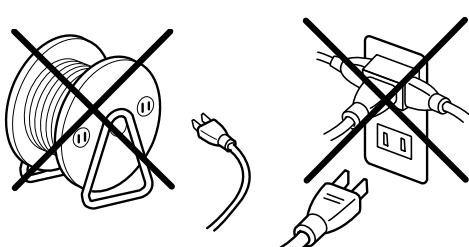


ビニール袋の処分	● 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置か処分してください。
子供を近づけない	● 作業場に、作業に関係ない人は入れないようにしてください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
作業に適した服装の着用	● 長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服および底のすべらない靴で作業をしてください。 ● 首や肩にタオルを掛けて作業しないでください。
機械の接地（アース）	● 漏電による感電や火災防止、機械の誤動作防止のため、必ず接地（アース）をしてください。 接地（アース）工事については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
漏電ブレーカの設置	● 漏電事故防止のため、元電源に必ず漏電ブレーカを設置してください。 設置については、電気工事店に依頼してください。
運転開始前に周囲の確認	● 電源コードなどにつまつかないように、機械周辺の整理整頓をしてください。 ● 運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、お互いに合図を交わしながら行ってください。 ● 機械の上に工具などの物を置いて機械を作動させないでください。
通電部分に触れない	● 元電源を入れた後は、電源ボックス内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。
カバー類を取り付けて運転	● 安全カバー類はすべて取り付けて運転し、運転中は安全カバー類を取り外さないでください。 ベルトやプーリに挟まれるおそれがあります。
可動部に触れない	● 運転中は、機械の可動部に触れないでください。
運転中は点検をしない	● 運転中は、特に指示する箇所以外は機械の点検および調整を行わないでください。

警告

掃除・点検・停電時は電源プラグを抜く	● 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、電源プラグを抜いて、機械が完全に停止している状態で行ってください。 ● 運転中に停電した場合は、電源プラグを抜いてください。モータが急に回転することがあります。
無理な作業はしない	● 疲労を感じたら無理に作業を続けず、休憩をしてください。

使用上の注意事項

据付場所	● 機械の据付場所は、水平でしっかりとした場所にしてください。水平でないと機械の振動発生の原因になります。
雷が鳴ったら電源プラグを抜く	● 落雷のおそれがあるときは、機械保護のため運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
タコ足配線をしない 	● コードリールの使用やタコ足配線はしないでください。
水を掛けない	● 機械には水を掛けしないでください。水が掛かると電気回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
ていねいに操作する	● 各操作部は、ていねいに操作してください。乱暴に操作すると、誤作動および故障の原因になります。
機械の運転状態を監視する	● 機械の運転中は、異常音・異常振動などがないか運転状態を監視してください。
揮発性の高い薬品の使用禁止	● 本機周辺で揮発性の高い薬品を使用・保管しないでください。機械が故障するおそれがあります。
保管時のネズミ侵入対策	● 機械の保管場所は乾燥した平らな所を選び、機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

標示ラベルについて

本製品には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容をよく確認のうえ、理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図1および図2を参照してください。

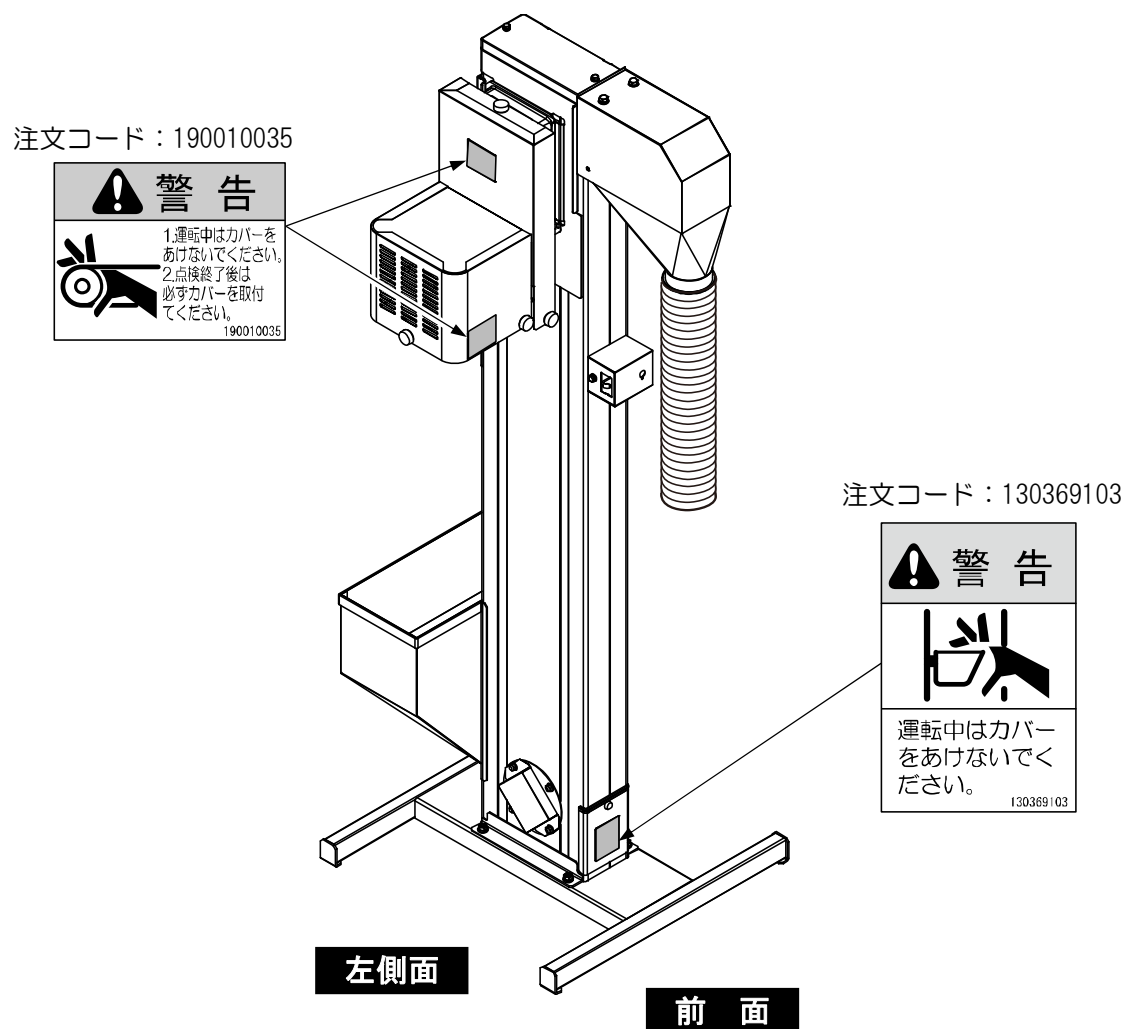


図1 標示ラベル貼付位置(1)

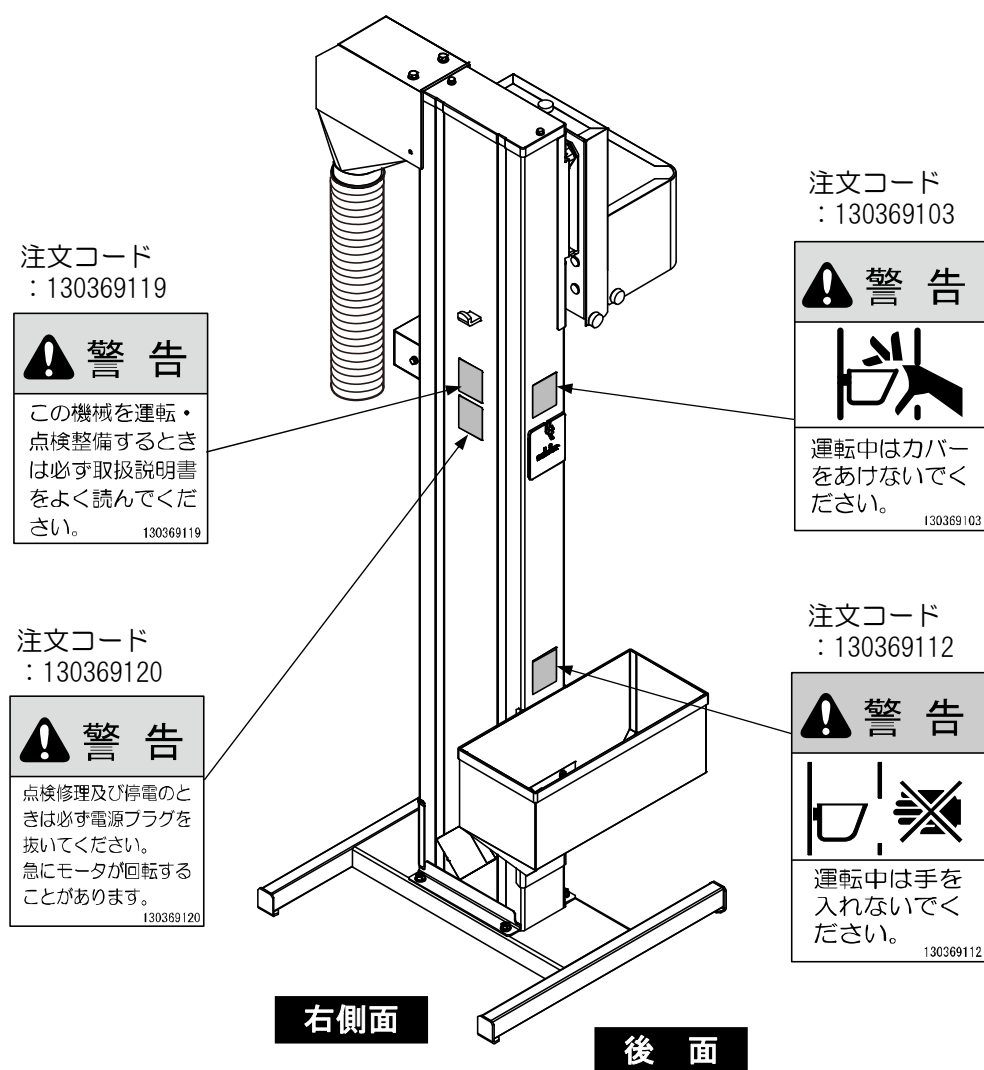


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
汚れなどで文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえとはたらき

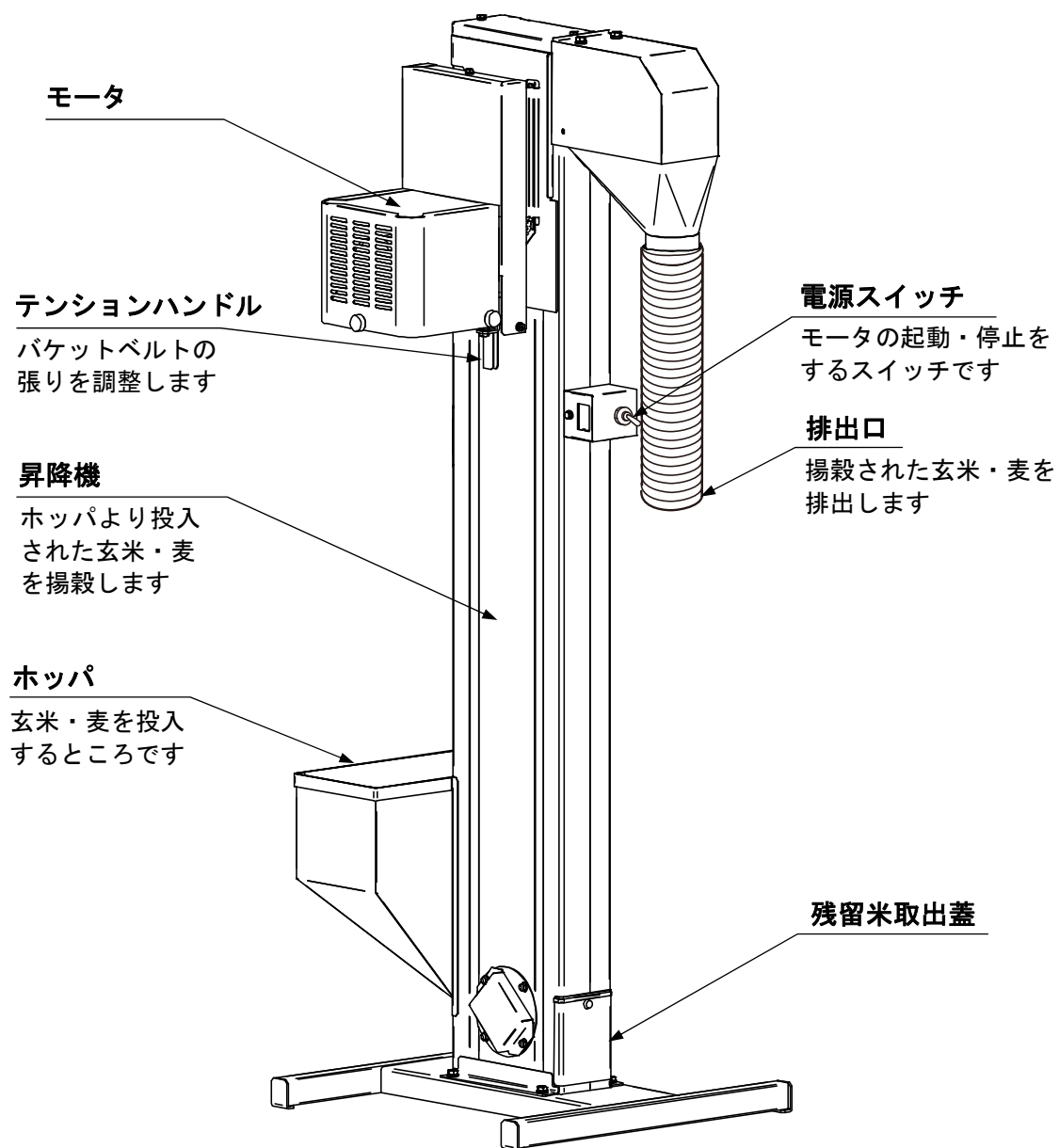
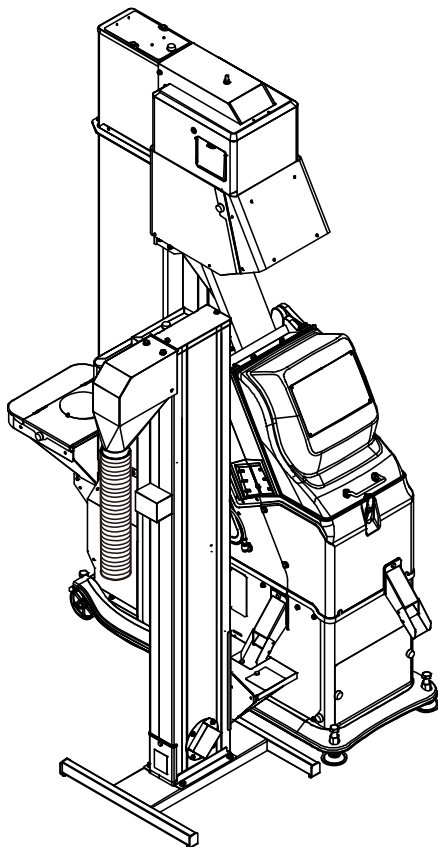


図 3 機械全体図

ホッパについて

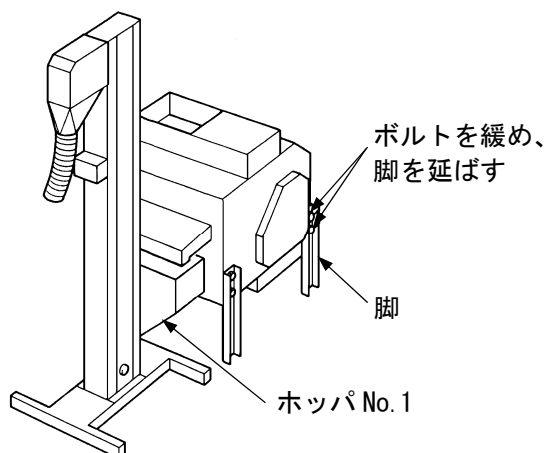
(1) ピカ選と連結して使用する場合



- ピカ選と連結して使用する場合は、オプションの FGS 接続ホッパを取り付けます。
- FGS 接続ホッパは、以下のコードで注文してください。

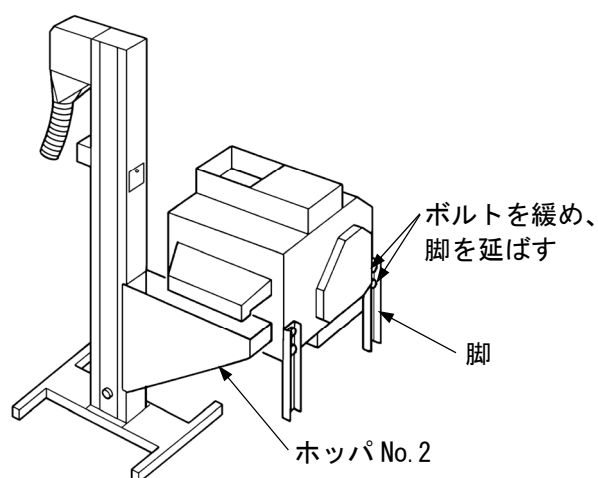
注文コード	部品名
1BWE3AXAAZ52	FGS 接続ホッパ

(2) 石抜機と平行に連結して使用する場合



- 石抜機と平行に連結して使用する場合は、付属の横長ホッパ No. 1 を取り付けます。
- 石抜機は脚を延ばして左図のように連結してください。

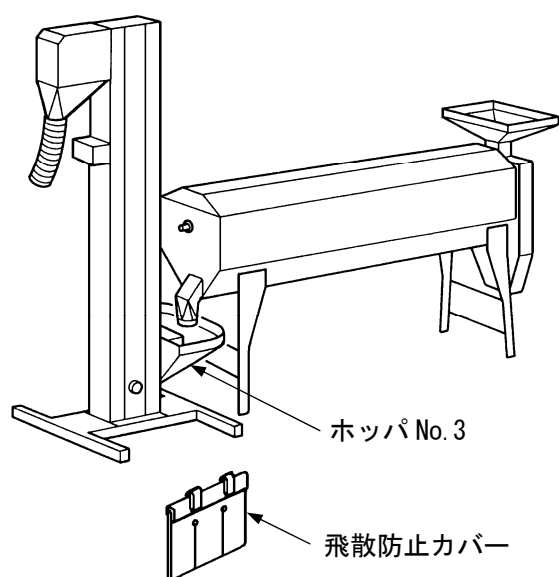
(3) 石拔機と直角に連結して使用する場合



- 石拔機と直角に連結して使用する場合は、オプションの縦長ホッパ No. 2 を取り付けます。
- 石拔機は脚を延ばして左図のように連結してください。
- 縦長ホッパ No. 2 は、以下のコードで注文してください。

注文コード	部品名
B9150290040	ホッパ No. 2 一式

(4) ライスグレーダーと連結して使用する場合



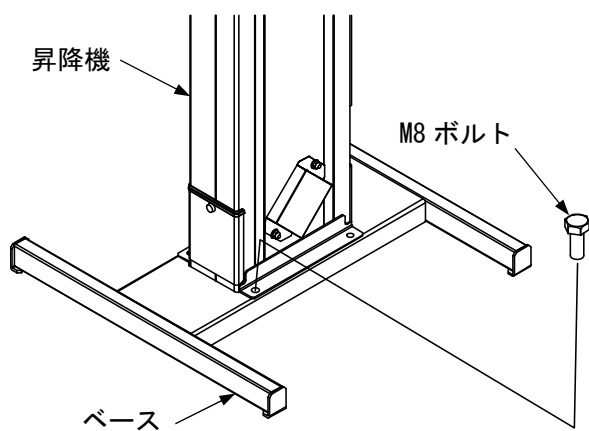
- ライスグレーダーと連結して使用する場合は、オプションの高さの低いホッパ No. 3 を取り付けます。
- 飛散防止カバーは、ホッパ No. 1 についたものを使用してください。
- ホッパ No. 3 は、以下のコードで注文してください。

注文コード	部品名
B9G704033	ホッパ No. 3 一式

組立

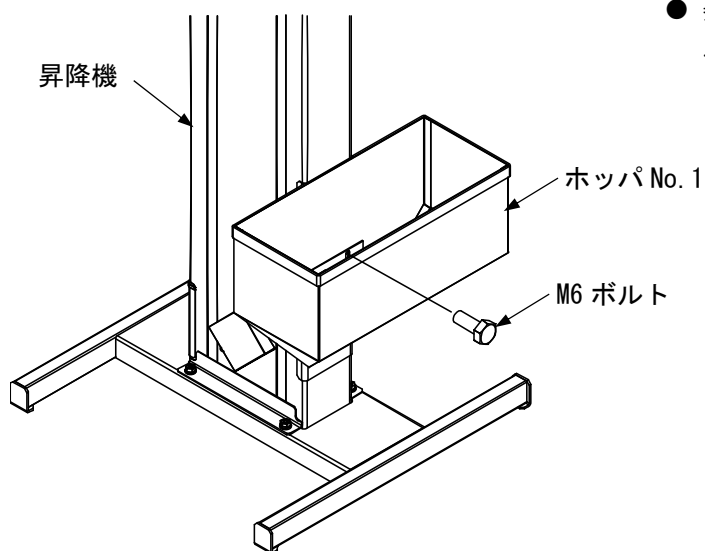
1) ベースを取り付けます。

- ベースの上に昇降機を立て、M8 ボルト（4 本）で固定します。



2) ホッパNo.1 を取り付けます。

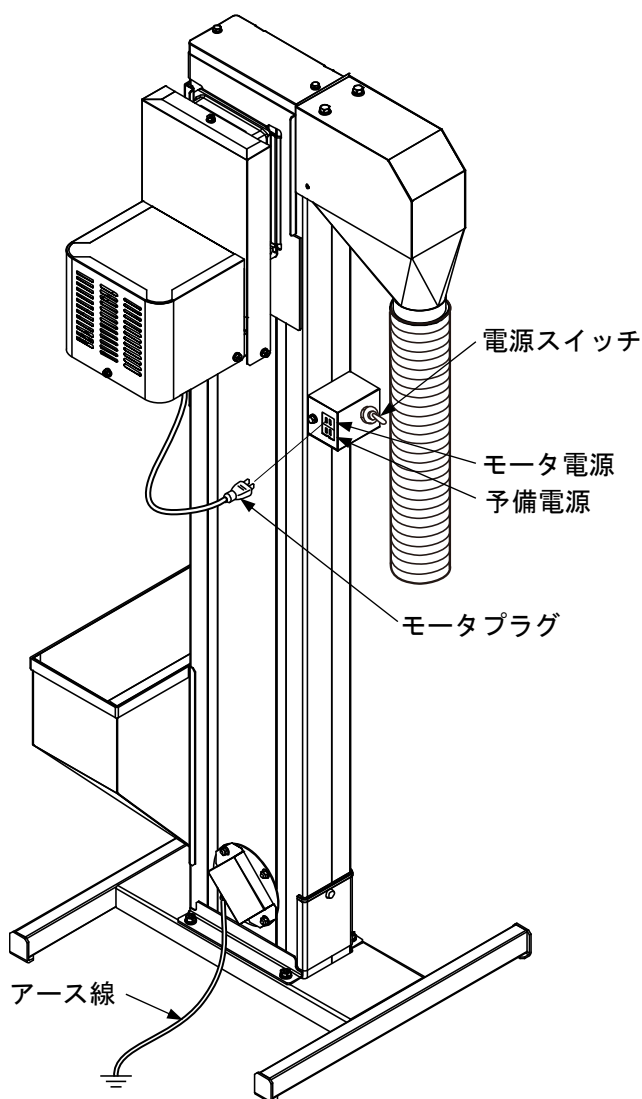
- 昇降機にホッパ No. 1 を M6 ボルト（2 本）で固定します。



運転前の準備

警告

- 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。
- 漏電による感電や火災防止、機械の誤動作防止のため、必ず接地（アース）をしてください。
- 接地（アース）工事は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- 1) 接地抵抗が 100Ω 以下となるよう、接地（アース）します。
 - アース線は、機械の図の位置に取り付けてあります。

取扱注意

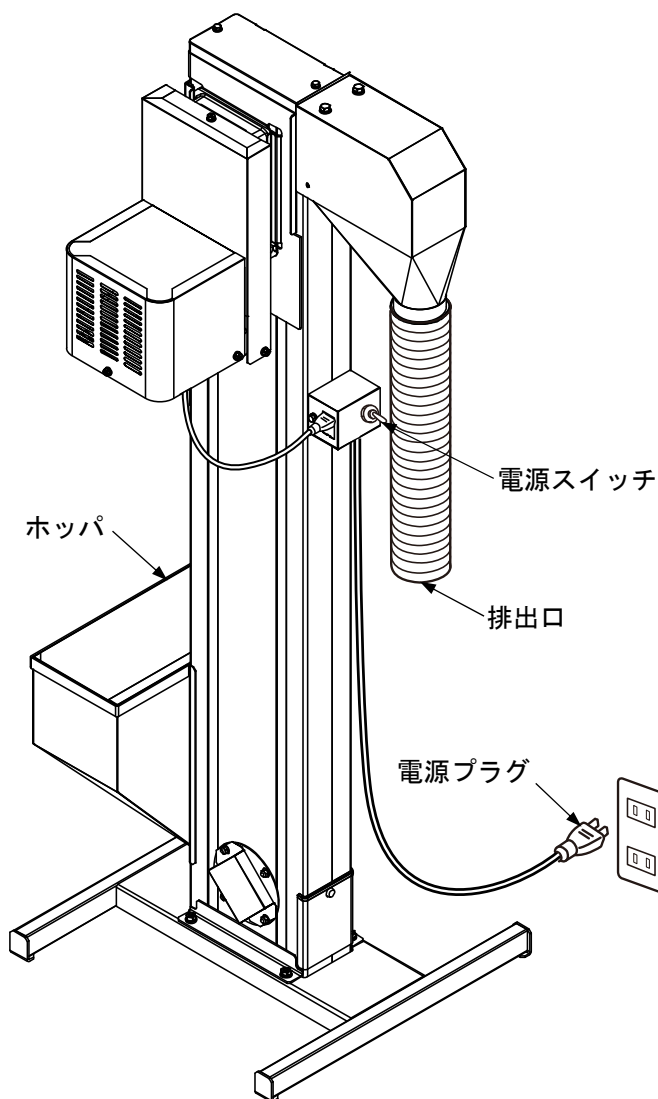
- 電気設備技術基準に基づき、D 種（第 3 種）接地工事を行ってください。

- 2) モータプラグをモータ電源へ差し込みます。

警告

- 予備電源（100V、300W 以下）には常時 100V の電気が通電しています。電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、電源スイッチに関係なく注意してください。

運転のしかた



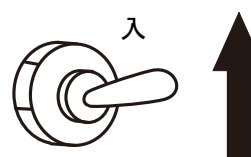
1) 電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- AC100V コンセントに電源プラグを差し込んでください。



2) 電源スイッチを「入」にします。

- モーターが回り、機械が起動します。

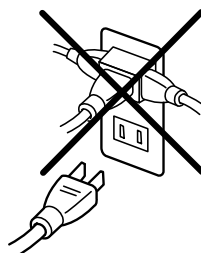
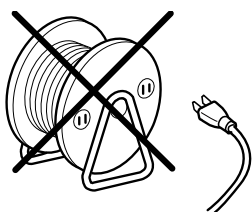


3) ホッパに玄米（麦）を投入します。

- 投入された玄米（麦）は、揚穀され排出口から排出されます。

取扱注意

- 電源にコードリールを使用したり、タコ足配線したりしないでください。





- 運転中は、カバー類を必ず装着してください。
- 運転中は、ホッパの奥に手や棒などを入れないでください。
- 運転中に停電した場合は、必ず電源スイッチを切ってください。再度電源が復帰した場合、復帰と同時にモータが回転して危険です。
- 機械が詰まった場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、昇降機下部カバーを取り外して、機械内部の穀粒を取り出してください。

取扱注意

- ホッパに原料を張り込んだ状態で電源スイッチを「入」にするとモータが過負荷になり、過負荷停止装置が働き、モータが停止しますので注意してください。
- 排出された白米・玄米が排出口をふさいだ状態で使用すると、白米・玄米を傷付けますので、排出口をふさがないように注意してください。

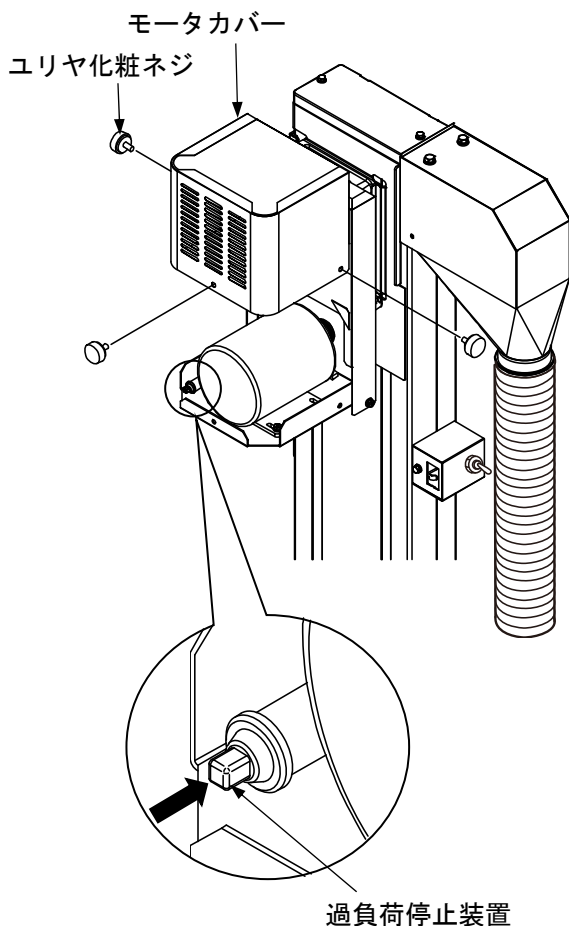
過負荷停止装置の解除方法

モータが過負荷になり機械が停止した場合、以下の手順に従って過負荷停止装置を解除してください。



警 告

- 過負荷停止装置の解除を行う場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

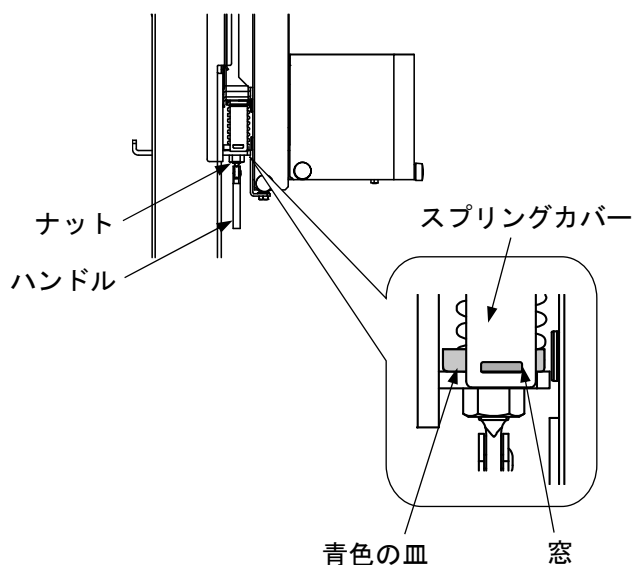


- 1) 機械停止後 10 分以上待ちます。
- 2) モータカバーを開けます。
 - ユリヤ化粧ネジ（3 本）を緩めます。
- 3) 過負荷停止装置の押しボタンを押します。
- 4) モータカバーを閉じます。
 - ユリヤ化粧ネジ（3 本）を締めます。
- 5) 電源プラグを差し、電源スイッチを「入」にします。
- 6) 機械が正常に動作することを確認します。

点検・調整



- 点検、調整を行う場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。



1) バケットベルトの張り具合を確認します。

- スプリングカバーの窓の下側と青色の皿の下側が一致していることを確認してください。
- 一致していない場合は、ナットを緩め、ハンドルを回して調整してください。調整後は、ナットを締めてください。

2) バケットおよびバケットベルトの状態を確認します。

- バケットベルトが摩耗して底が浅くなっていないか、バケットベルトに亀裂やほころびがないか確認してください。異常のある場合は、新しい部品と交換してください。

掃除と保管

1. 掃除のしかた



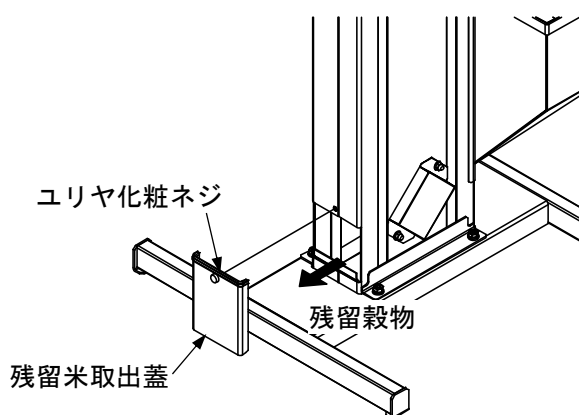
警告

- 掃除をする際には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください



注意

- 作業時には、手袋・長袖・長ズボンなど、作業に適した服装および靴を着用してください。



- 1) 機械内部の残留穀物を取り出します。
 - 品種の異なった玄米・麦を通す場合や、シーズンの終わりには、昇降機下部の残留米取出蓋を、ユリヤ化粧ネジを緩めて外し、内部の残留穀物をきれいに取り出してください。

お手入れと保管

2. 保管のしかた

- 1) 機械内部の掃除を行います。
(上記「1. 掃除のしかた」参照)
- 2) 残留米取出蓋を確実に取り付けます。
- 3) ホッパと排出口をカバーでふさぎます。
 - カバーはお客様にて準備してください。
- 4) 機械を保管場所へ移動します。
 - 保管場所は、雨などが掛からず乾燥した平らなところにしてください。
 - 機械を保管するときは、電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。

消耗部品

消耗部品は、表 1 を目安に事前に準備されることをお勧めします。

表 1 消耗部品一覧表

品 名	部品コード	交換の目安
バケットベルト一式	9151291010	250～300 時間
リブベルト 270-J-4	FD701012704	500 時間
ベアリング	—	500 時間

※ 表 1 消耗部品一覧表の交換の目安は、地域、原料条件、使用条件等により異なる場合があります。

仕様

表 2 仕様一覧表

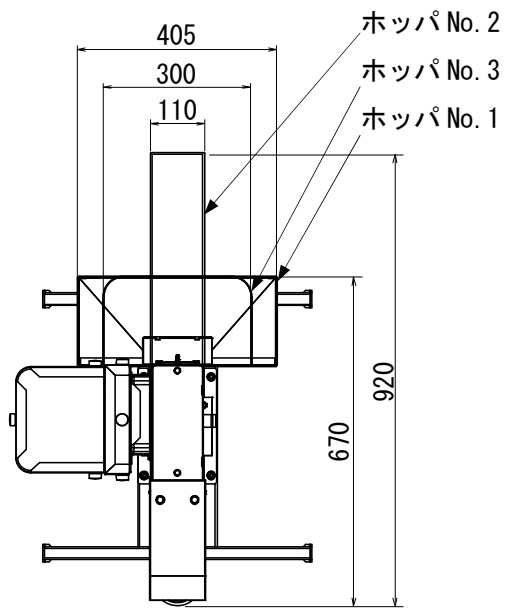
型 式	SEG 3D
区 分	(2)
能 力 (kg/h) 注1	2400 (最大)
定 格 電 圧 (V)	単相 100
定 格 出 力 (kW)	0.15
回 転 数 (r/min)	365
機 体 質 量 (kg)	35
揚穀可能な原料 注2	玄米・粳・麦
安 全 装 置	過負荷自動停止装置

注1 能力は、地域、原料条件、使用条件によって仕様と異なります。

注2 仕様に記載している原料以外で特殊な原料で使用する場合は、
お買い上げの販売店またはJAにご相談ください。

注3 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することが
あります。

機体寸法



単位：mm

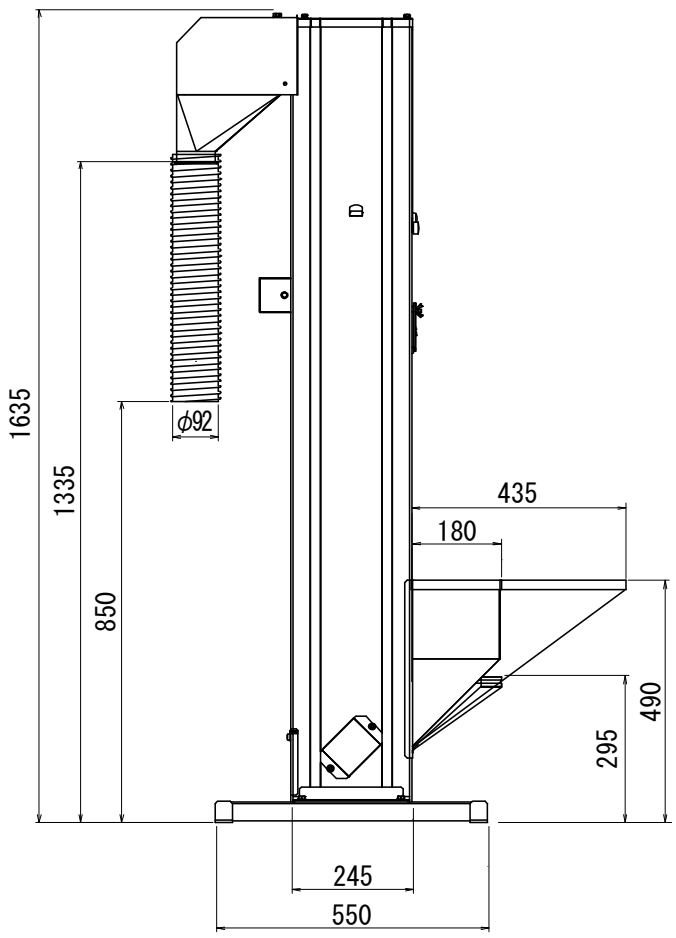
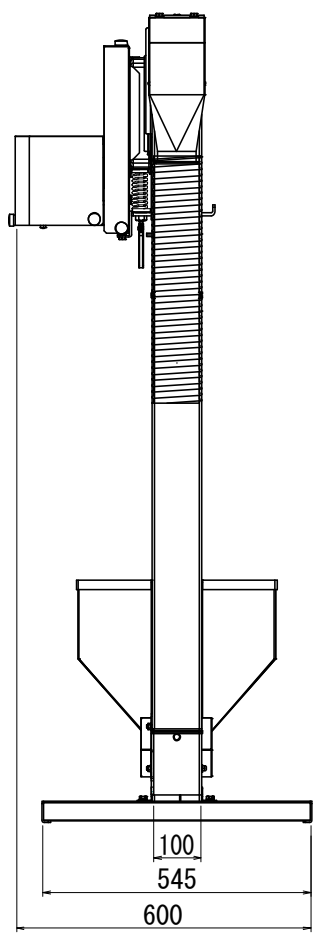


図 4 機体寸法図

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

[XE]

[illegible]

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡が見つからない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区中央３条３丁目６-４４	011（812）3666	011（820）2007	003-0013
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目１６-１（サタケ東北内）	0197（64）0111	0197（61）0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地１２１-２	018（839）0891	018（889）6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目西町７-３３	022（287）2733	022（390）1017	984-0011
小山営業所／栃木県小山市駅南町４丁目３１	0285（27）5060	0285（31）1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室１１５３	04（7132）1181	04（7140）8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟３丁目８-１６	025（287）0177	025（257）1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見１丁目２-２８	0586（73）2177	0586（26）1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町７９３-１	076（277）2085	076（277）8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町２丁目５-１	06（6867）6015	06（6867）6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町２５-２９ アソカビル３Ｆ	082（420）8575	082（420）0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場４８５-１	089（982）6990	089（997）3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分１丁目７-１	092（921）6111	092（920）1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区長嶺東２丁目４-７０	096（382）2727	096（386）2007	861-8038

〔３〕製造元 株式会社

広島本社／広島県東広島市西条西本町２-３０ 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL：082（420）8543	FAX：082（420）0009
■本社営業窓口 [調製機事業本部]	TEL：082（420）8541	FAX：082（420）0005
■大代表	TEL：082（420）0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://www.satake-japan.co.jp>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ、サタケ東北株式会社、サタケ豊栄株式会社、
サタケグレインマシナリー株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司

Copyright (C) 2026 Satake Corporation. All rights reserved.

I1SEG3DXAAB-X2601D-D